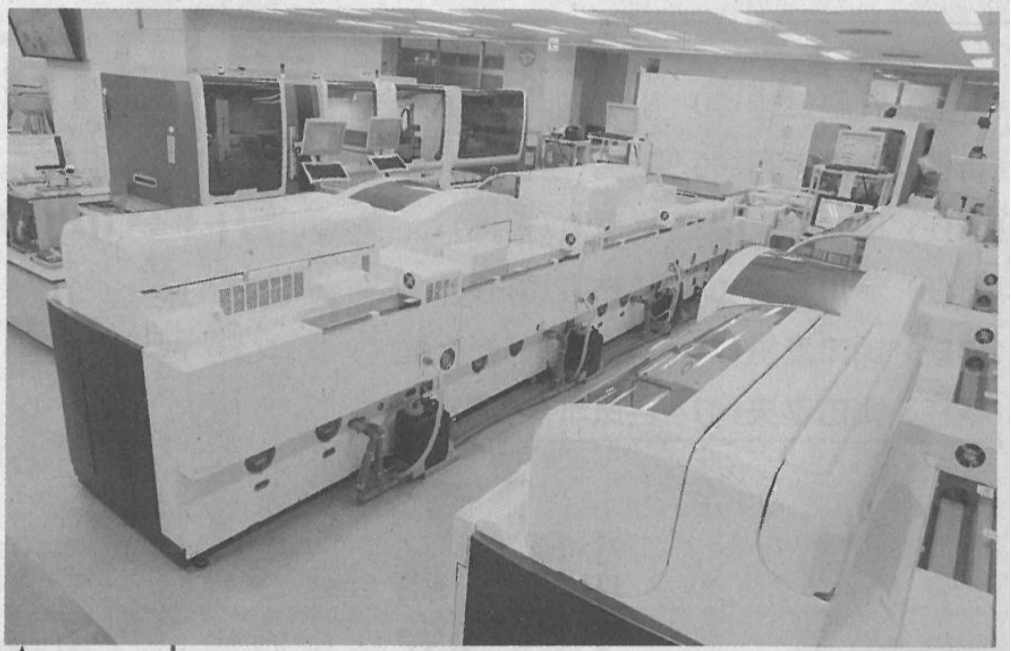


新聞に掲載されました

矢作新報 令和2年6月19日発行



豊田厚生病院の新検査システム。検査装置はトラブルに備えて2台導入している

国内初システムで 検査時間3割減に

ISO認定も取得

豊田厚生病院が昨年1月に新しい検査システムを導入し、検査時間がそれまでと比べて3割ほど短縮されている。このシ

ステムは血液や尿等の検体の前処理、検査、搬出、冷蔵保管を自動で連続して行えるもので、日本初だという。新システムを

豊田厚生病院

導入したのは検査設備が更新時期を迎えたことに加え、検査能力を向上させて業務を効率化するの狙いだ。

高精度カメラの付いた前処理装置は撮影した画像で検体をチェックできるので、エラー検体は検査前に選別できるようになった。これまで別々に行っていた検体の成分検査や、ウイルス検出、ホルモン計量も一連の検査

装置で連続して行えるようになった。

検査中に人手を介すことが無くなったので検査時間が約20分短縮し、40分50分までできるようになったという。検査時間が短縮されたことに伴い、余裕ができた人員を他の業務の支援にまわせる環境も整った。検査装置を6台から2台に集約したことで、メンテナンス時間も減ったそうだ。

また新システム導入に



伴い検査の精度も向上して薬の治験や学術論文などで使用することができる高品質のデータが提供できるようになり、今年3月には臨床検査室の国際規格「ISO 15189」も取得した。

診療協同部長の中根生弥さんは、「災害拠点病院としての豊田厚生病院のブランド力の向上も狙い導入しました。地域の人たちに安心して来てもらえる病院を目指します」と話していた。

【吉田直樹】

当院の「臨床検査室の取り組み」が新聞に掲載されました。今後も検査の品質向上に努め、地域の方に安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいります。